

# 景況レポート

(11月分・情報連絡員 80名)

## 全体の景況DI値は5カ月連続で上昇

【概況】11月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが12.5%(前月調査12.5%)、「悪化」が36.3%(同40.0%)で、業界全体のDI値は-23.8となり、前月調査と比較し3.7ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-6.2で前月調査(-15.6)に比べ9.4ポイント上回った。また、非製造業全体のDI値は-35.4で前月調査(-35.4)と同じ結果であった。

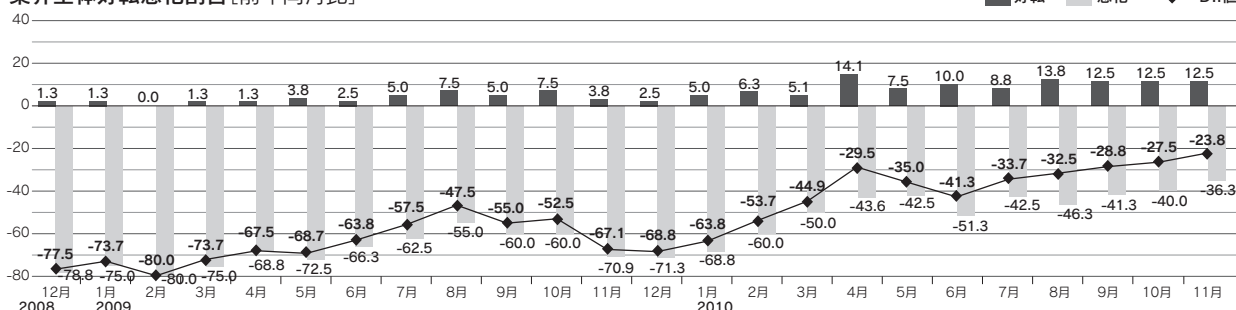
エコポイントの影響で住宅リフォーム工事が増加し、製材、建築関係は繁忙感がある。繊維製品も、中国からの生産拠点のシフトにより受注が増加している。反面、エコカー補助金の終了した自動車販売は3カ月連続して新車販売台数が前年を下回る等、業界によって業況に差はあるものの、多少景気の回復を感じるという声が聞かれるようになってきた。(回答数:80名 回答率:100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種						
製造業	☁	☁	☔	☔	☔	☁
非製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔

【凡例】  
 ☀ 快晴 30以上  
 ☁ 晴れ 10以上 30未満  
 ☁ 曇り △10以上 △30未満  
 ☔ 雨 △10未満 △30未満  
 ☔ 雷雨 △30以下  
 【天気図の見方】  
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



### 業界の声

豆腐製造	消費の低迷によりスーパーの売上も伸びず、前年同期比はマイナスで推移している。原料大豆の相場も強含みで、コストの吸収もできず厳しい経営が続いている。
清酒製造	10月分の清酒出荷量は前年同月比91.8%で推移した。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比で98.4%、純米酒が101.0%、本醸造酒が92.0%、レギュラー酒が90.1%という状況となっている。
繊維製品	【能代市】気温低下により、コートの生産が増えたので、売上は前月より多少上昇した。 【大仙市】ほとんどの企業は以前よりも仕事量が増えてきている。 【由利本荘市】20～30代向けのコートが販売好調、同型で追加受注があった。中国生産の懸念から国内に切り替えたメーカーが増加している。
一般製材	【仙北市】10月から11月にかけて原木が不足気味で、関東以北に資材不足を生じている。原材料も値上がりしているため、取引先に製品価格アップのお願いをして徐々に承諾を得ている状況である。
プレカット	一般住宅の新築物件は幾分回復しているが、年間着工戸数は前年より減少し、厳しい状況にある。エコポイントの効果で増改築は増加しており、建材の断熱材は品薄状態になっている。
機械金属	【秋田市】10月の売上高は616,242千円と前年同月比102.3%で推移した。前年同月比でプラスの企業が増えてきた。
自動車販売	11月の新車販売台数は、登録自動車が1,536台(前年同月比61.3%)、軽自動車が1,377台(同78.4%)で、合計2,913台(同68.3%)であった。
石油販売	ガソリンは1ℓ当たり130円で前月比1円引き上げ、軽油は1ℓ当たり111円が変わらず、配達灯油は18ℓで1,397円と前月比3円の引き上げとなった。
みやげ品販売	9月～10月は残暑の影響もあり非常に悪かったが、紅葉が遅れた為、後半で前半の落ち込みをカバーする事ができた。
商店街	【秋田市】業種によって多少の差はあるものの、総体的には前年実績を確保するのがやっとの状況が続く。賞与を支給できる企業が年々減少している。 【湯沢市】主街路の1階に空き店舗が4件あったが、12月に2店が開店予定である。
建築設計	【能代市】年の瀬ということもあり、住宅リフォームの仕事が増えて需要は上向き傾向である。
電気工事	【秋田市】今月前半は落ち着いた業況だったが、年末までの完成工事を控えて後半は徐々に忙しくなった。